（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	第２放課後等デイサービス　ぽこぽこ

公表日 令和8年12月1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		国の指定基準を満たしたスペースの確保をし、活動スペースとして提供させていただいています。さらに安全面には十分に配慮しながら活動や支援を行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		国の職員配置指定基準を満たした職員数を配置しています。スタッフ同士持ち場に関わらず迅速に協力し合える体制を整えています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	段差など構造上改善が難しい場所もありますが、ステップを置くなどの配慮をしています。また、活動時には、注意喚起の声掛けを行いながら危険回避を図っています。	玄関などに段差がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		下校時の子どもの様子や活動状況に応じて部屋を使い分けて落ち着いて過ごせる環境や集中できる環境作りをしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		個別で使用する時は、使用する児童の配置を考えトラブル回避をしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		開始前にミーティングを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		評価表を活用し保護者様の意向を業務に取り入れられるように業務改善をしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		支援会議等で、職員の意見等を把握する機会を設け業務改善に繋げています。会議に出れない職員とも情報を共有しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	評価機関による第三者評価は実施していませんが、島根県の実施指導監査を受け、業務改善や意見交換を行い、業務改善に努めています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		必要な研修は回数を増やすなど機会を設けています。また、園内研修への参加の周知を図ったり、自主研修の情報提供を行っています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		アセスメントツールを使用しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		ケア会議などで情報を共有したり支援の検討などをしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	6		ケア会議で情報を共有し計画に沿って支援しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		日々子どもの様子を観察し職員間で情報共有を行い、必要に応じてアセスメントシートを利用し確認しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		ガイドラインに沿って適切に行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		要望を取り入れながら、個々に合わせた活動内容を検討する時間を設け立案を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		季節の行事等を取り入れながら、様々な活動経験できるように、随時お子さまの状況に応じて活動を行っています。長期休みの際には、外部講師による交流機会を設けています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		状況に応じた活動計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		事前ミーティングを行い情報共有を図っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		それぞれ職員間で、その日の支援の振り返りを行うと共に気づいた点を話し合っています。また、終了後に振り返りが出来ない時は、翌日のミーティングで話し合いより良い支援へと繋げていきます。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々ケース記録を作成し、支援の検証・改善に繋げています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		半年に一度モニタリングを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6		①自立支援と日常生活の充実のための活動②創作活動③地域交流の機会の提供④余暇の提供を組み合わせて支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		ガイドラインに沿って適切に行っています。視線や指先などの動き、顔の表情や声の強弱、絵カードの提示などを用いて支援を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者が出席するようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		必要に応じて関係機関と連携し支援を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		必要に応じて学校と連携し支援を行っています。下校の際に学校の先生と情報の共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		ご利用のお子様の対象年齢が中学生以上の方が主でありますが、必要に応じて情報共有を行っていきます。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		必要に応じて情報提供を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	5	1	必要に応じて助言を受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		交流は実施していませんが、社会資源活動を通して触れあう機会を設けています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		児童発達支援管理責任者が参加しています。今後も協議会等へ参加していきます。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		事業所での活動や様子を連絡帳でお伝えしたり、迎えの際に個々に伝えています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		随時、個別に相談対応をしています。 毎年、ペアレント・トレーニングを実施しています。	
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明をしています。変更があった際には適宜説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		面談や聞き取り用紙を活用し意向の確認を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	6		保護者や必要に応じて児童へきちんと説明を行い同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		個別支援計画の説明の際や支援会議等において必要な助言や支援、必要に応じて面談を行っています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	長期休み中に、家族向けに参観日や事業所見学を行ったり、福祉サービスの勉強会を行っています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		子どもやご家族様からの苦情申し入れに対し、苦情受付窓口を設けており、適切な対応を心掛けています。今後も苦情に対して、迅速で適切な対応をしていきます。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		定期定期に広報を発行しています。保護者とはLINEのアプリを活用し連絡を取る事もあります。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		十分な配慮を行っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		利用者・家族様ともに意思疎通・情報交換の為に細心の配慮を心掛けています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	行事やボランティアの受け入れなどを通して地域との交流が図れる様に工夫しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		マニュアルを策定し周知を図っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		非常時に備えて計画や必要な訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		事前にお子様の情報を確認し状況に応じて対応しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		マニュアルに基づき対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、計画に沿って訓練などを実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	6		安全計画を作成し、計画に沿って訓練などを実施しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		毎月支援会議にて職員間で検証を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止に関する研修会を定期的に開催し、適切な対応を心掛けています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		現在、身体拘束を行わなければならないケースはありませんが、必要に応じて個別支援計画に記載し説明を行っています。	